

脳内のスイッチで うつ病の治療を。

この方法が当たり前になった未来を想像してみませんか？
それは、前向きな感情に影響する脳内の「意欲スイッチ」の調整が
気分障害のまったく新しい治療法となりうる未来。神経細胞内に
ある、やる気や幸福感に関わるカリウムチャンネルという門を適切に
開け閉めするメカニズムを解明した藤田医科大学は、この意欲の
スイッチのオン・オフを薬でコントロールする研究を進めています。
5～10年先にはうつ病治療において副作用や再発リスクを抑えた
選択肢となり、薬物乱用を含む依存症治療の希望にもなることを
信じて。極めて複雑で難解な脳の解析へ今日も挑み続けます。

救える力を、創りだす。



藤田医科大学



藤田医科大学

精神・神経病態解明センター

